

平成28年度 施策評価表

課・グループ名

都市整備課土木グループ

作成年月日：平成29年10月13日

施策名	①緑の保全と緑化の推進 5-1-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり (1) みどりあふれる快適な都市環境づくり		①緑の保全と緑化の推進
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●緑地の保全や緑化活動を進めるとともに、緑に関心を持ち、緑づくりに取り組む人材を育成します。 ●地域の風土に育まれた寺社などの緑や防風林、公園や緑地帯の緑の保全と活用に努めます。 ●町民の環境緑化に対する意識を高め、地域が行う緑化活動を支援します。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●国道沿線では「ボランティア・サポート・プログラム」として地域住民と自治体、道路管理者が協力して道路の清掃及び緑化等の活動を行い、地域にふさわしい道づくりを進めています。 ●行政区、町内会が自主的に花植及び除草作業を実施し、緑の保全と緑化に取り組んでいます。 ●都市公園の整備により、緑地の保全が図られています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●緑あふれるまちづくりを進めるために、寺社や住宅、事業所などの多様な緑を守り育てる必要があります。 ●緑を大切に、町民主体の身近な緑を促進するため、緑化意識を高める必要があります。 ●うるおいとやすらぎのある道路空間を確保するため、清掃や緑化を推進することが必要となっています。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
			成果指標 (総合計画・施策評価)			可能	
						不可能	
						○ 未計測	
			代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定	
		※特定のデータ化等が困難であるため指標なし			可能		
					○ 不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
	目 標						
	実 績						
達成率	%						
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民(ボランティア・サポート・プログラム)が、国、町と協力して8号沿線の清掃、花植など美化活動の推進が図られている。 ・地域(行政区、町内会)の花植、除草などの取り組みを支援することで、環境美化に対する向上が図られている。 	
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)			B		
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H28実績	H29予算	
					実績								
1	緑化活動推進事業	(1)	都市整備課	緑化活動団体数「VSP」活動回数	19	①団体 ②回/年	町民の環境緑化に対する意識を高め、地域が行う緑化活動に対し支援を行う。 また、「ボランティア・サポート・プログラム(VSP)」として地域住民、自治体、道路管理者が協力して8号沿線の美化活動に努める。地域の美化活動に対し、国が花苗等支援物資を提供し、町が活動を支援する。	Ⅱ	Ⅱ	1 現状のまま継続	2,433	普通	
					4						7		4
2													
3													
4													

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H28事業費 2,433

H29予算 2,840

②H29に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	地域住民の活動に対して支援することで、緑化や景観保全への意識向上が図られることから、今後においても支援を継続する必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。		事業の 方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降 の予算の方向性	
	A									
	B	1							拡大	
	C								○ 維持	
	D								縮小	